

中野区議会令和元年（2019）第4回定例会一般質問 齊藤ゆり 11月27日

1 第四中学校・第八中学校統合のスケジュールについて

2 その他 なし

令和元年第4回定例会にあたり、立憲民主党・無所属議員団の立場から一般質問いたします。質問項目は通告のとおりで、2、その他はありません。

1 第四中学校・第八中学校統合のスケジュールについて

去る11月22日 教育委員会第33回定例会にて「第四中学校・第八中学校、鷺宮小学校・西中野小学校統合新校の新校舎整備及び統合時期の取り扱いについて」の報告がありました。中学校統合新校の新校舎の工事延伸により、完成が令和7年以降になることが明らかになったため、統合時期の検討が行われましたが、統合時期は変更せず、当初計画通り四中・八中の統合は令和三年になりました。また鷺宮小・西中野小の統合も予定通り令和5年に実施されることになりました。

中学校新校舎は、旧若宮小、現美鳩小位置に建設されますが、工事の遅れは、敷地西側の妙正寺川沿いの擁壁の基礎工事が必要になったためと説明がありました。

教育委員会においては、統合時期を変更する場合は、どのような影響あるのか、適正なクラス数について各校の今後の児童生徒数推計はどうか？などを議論した結果、中野区全体の影響も考え、スケジュール通りに進めるのがよい。との結論にいたったとのことでした。

①しかしながら、新校舎の完成が統合後最短でも4年後になるため、新校舎へ通えない生徒であったり、鷺宮地域からは、2.2キロ以上約30分かけて四中位置まで、在学中3年間遠い距離を歩く生徒がでることになります。子どもたちには相当な負担となります。通学への配慮について、どのような対策をとられる予定なのでしょうか？お伺いします。

[回答] 教育長

○生徒の通学時の安全対策につきましては、学校、PTA、地域と連携をとり、警察等の関係機関とも協力しながら対応する。また、遠距離通学者への負担軽減策として、公共交通機関の利用等について学校と調整、検討する。

②この度の工事延伸の理由として擁壁工事の必要が説明されましたが、もう少し早くに対応することはできなかったのでしょうか？さらに近隣の都営住宅の建て替え、都による妙正寺川の改良工事、それにとまなう丸山橋架け替えの工事等により、校舎工事のための大型車両が通行できない時期がでてしまう可能性があるということも聞いています。そのために、令和7年とめどが示されていますが、それよりもさらに完成が遅れる可能性もある

そうです。また、このたび、南台小学校の新校舎整備においても、同じく擁壁工事のために2年完成が遅れることが明らかになっています。

このところ、学校施設以外にも工事延伸の報告が多く見られます。オリンピック・パラリンピック関連工事による影響や、国や日本建設業連合会も方針を出しているように、建設作業員の働き方改革のため、現場を週休2日にする流れとなっていることも理由にあるようです。

子どもたちにとってはたとえ1年でもかけがえのない時間です。今後実施される他の学校再編計画における新校舎整備および学校施設整備計画における工事スケジュールは遅れがでることがないように適切な工期ですすめていただきたい。いかがでしょうか？

[回答] 教育長

○中野区立小中学校再編計画及び中野区立小中学校施設整備計画の策定時から、実際に整備工事に至るまでの間に起こる社会経済情勢の変化や、近隣で行われる他の工事の状況などによっては、小中学校施設整備スケジュールに影響を及ぼすこともある。状況を注視し、工事スケジュールについては、そのときに見直していく。

③関連して、鷺宮小学校・西中野小の統合についてお伺いします。

鷺宮小・西中野小は令和五年に八中跡地に新校舎が建設されて統合します。西中野小通学区域の児童については、本来八中が進学先ですが、中学統合新校が四中位置となり通学が長距離になることから、指定校変更の特例が設定されています。そのため、今年度は八中へ進学する児童はなく、今後も北中野中へ進学する生徒が多くなることが予想されます。

統合したのち、西中野小通学区域のこどもたちは、その翌年度から四中位置の中学校に通学するのでしょうか？それとも、統合校のなかで、一部の児童には指定校変更を認めるのでしょうか？もしそうなった場合、混乱がおきるのではないかと心配されますがいかがでしょうか？

[回答] 教育長 答弁がなかったため再質問を行った

○遠距離通学については中学校の場合は特例はない。再編特例につきましては、もう四中・八中については行われているところでございますけれども、今後どういうふうにしていくかについては検討していく。

④この地域では学校施設整備計画において、北中野中学校の改築計画があり、統合後の西中野小跡地を仮校舎とすることになっています。この際、鷺宮小と西中野小の統合を中学統合新校の校舎完成の時期とあわせて遅らせて、その間に北中野中の建替えを八中跡地で行うことも検討する可能性はないでしょうか？これは地元の久保議員も一案としてお考えなのですが、中学校校舎が利用できる利点もあり、上鷺宮地域から、踏切を超えて遠方よ

り通うより、ふさわしい選択肢のひとつではないでしょうか？

⑤様々な考え方があります。

しかし、子どもたちにとっての最良な教育環境のために、心を尽くして考えていきたい。

鷺宮小・西中野小の入学者数は、近年それほど大きな減少なく推移しております。このたび教育委員会で四中・八中の統合時期と鷺宮小・西中野小の統合について同時に検討されましたが、小学校の統合時期は再考も検討されてはいかがでしょうか？

[回答] 教育長

○中野区立小中学校再編計画の第2次では、児童・生徒は一定規模の集団で活動すること、あわせて一定規模の教員集団を確保し、学校教育の充実の実現を図ることとしている。令和元年度の鷺宮・西中野小学校の学級数は、鷺宮小学校12学級、西中野小学校7学級となっており、西中野小学校につきましては、望ましい学級規模としている12学級に届いていない状況である。統合がおくれることによりまして、児童にとって大切な適正な学習環境の整備もおくれることになる。これらのことから、統合時期につきましては、現時点では計画のとおり進めてまいりたい。

学校再編は、まちの再編ともいえる大きな問題です。こどもはまち全体で見守っていききたい。だからこそ、保護者と子どもたち、地域には丁寧で正確な情報提供をするように要望して、私の質問を終わります。